

競技上の注意

審判長 澤井美由貴

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 選手は令和5年度日本卓球協会のゼッケンをつける。
- 3 試合は公認プラスチック球（ニッタク）を使用する。
- 4 試合はダブルスから行う。予選リーグ、決勝トーナメント、決勝リーグすべて5ゲームマッチで行う。予選リーグ1位のみ決勝リーグに進む。
- 5 タイムアウト制は、ダブルスの準決勝、決勝とシングルの決勝リーグで採用する。
- 6 決勝リーグの試合順は、同一チームから2名出ている場合は、その対戦を先に行う。その他の場合は、プログラムに示してある順で試合を行う。
- 7 ベンチコーチは1名で、本大会に出場している選手、または参加申込時に登録をさせているアドバイザーに限る。アドバイザーの当日変更は認めない。
アドバイザーは1マッチの途中で交代しないこと。
同時に複数の選手のアドバイスをする場合、アドバイザーが移動するものとし、選手はプレー領域を離れないようにすること。
アドバイスは決められた時間に行うこと。
- 8 リーグ戦は空いている選手が審判を行う。
トーナメントの1回目の審判は進行から指名するが、その後は敗者審判とする。
決勝リーグの審判は、原則として、決勝リーグに出場しているチームの選手から出してください。
- 9 試合前のラケット交換は、見せ合うだけとする。

感染対策について

- ・入場制限などはありません。プレー中以外はマスク着用のご協力をお願いします。